

※ ニコニコ、ボツクス

- 1、お誕生日おめでとうございます。青柳会員 山形会員 菊地会員、高田会員 成沢会員 森会員 高杉会員 船矢会員
- 2、お結婚記念 高田会員
- 3、入会記念 高田会員

※ 出席報告

- 1、本日の出席 会員37名 出席28名 欠席9名
- 2、前回の出席率 会員37名 出席31名 欠席6名
他クラブ出席5名 出席合計36名 97.3%
- 3、他クラブ出席 函館R.C 98.12% 函館東 97.33%



卓話 「温室育ちの日本選手団」 国田嘉秋氏

グルノーブルで開催された第10回冬季オリンピックには日本から76名の選手が参加し、その技を競つたのであるが、入賞は皆無。日本初の金メダルが期待されていた男子スピードスケート5百メートルの鈴木恵選手も14日朝行われたレースで不運にも第3コーナーでふらつき40秒8に終り入賞も逃がして仕舞ふと悲運は、世界新記録を樹てる事も容易でなく優勝する事も容易でないが、それより増して面倒な事は4年に一度のオリンピックで優勝する事があります。4回優勝の記録を持つ鈴木恵選手が若さのクラマー選手(西独)に金メダルを持ち去られたのは何故であろうか。

終戦後敗戦の日本に希望と期待を集めさせ「飛魚フルハシ」と言われた古橋選手もオリンピックでは惨敗した事を想起し、何故だろうか と再び考えさせられるのであります。一本勝負のオリンピックのきびしさは、かけがえのない僅かのミスで今までの精進を全部御破算にして仕舞いオリンピックに勝つことのむずかしさが今更痛感されます。結論として日本選手には技術以前に神経の弱さ所謂「温室育ち」の選手が多いと言う事が、言われる様であります。

語学のコンプレックスがあるとしても、諸外国若しくは日本のレスリング選手の如く国際性もなく、なんとなく緊張と孤独。もう少しゆとりが必要であります。現状の如き状態であれば次回札幌大会でも優勝はおろか、入賞も困難であると予想され、「日本選手団の構成が学生を主体としたものでなく、毎日の生活の中に喰い込んだ職業人の層を厚くする事」が大切であると存じます。

また大会の運営に対する感覚が問題であります、グルノーブル大会は施設はすべて都市づくりの手段であり市民の生活に結びついている事があります。

オリンピックの華である開会式場はパイプでつくつたスタンドであり全般的に質素なもの。華麗豪華と言われた東京大会を想起するとき、国民性の相違につき深く考えさせられるものを今回は特に感じた次第であります。



The Weekly Report Hakodate North R.C.

第190号
3-13
ロータリークラブ

第190回例会

例会場 函館拓銀ビル
例会日 毎週水曜日
12.30~13.30

本日のプログラム

会員卓話 「続セメント雑話」 谷口勇君

ロータリー世界理解週間 —— 3月17日~23日

「アフリカ旅日記 マルタ島 ベレツタ」

RI会長 ルーサーH. ホツジス

今回の訪問旅行の最終地であり、この旅行の最後のしめくくるのにふさわしく気持ち良いところであつた。ベレツタR.C.で行なわれた会合には、イタリー本土とシツリー島からも相当数の代表団が参加してくれた。これらイタリーのロータリアンは、マルタロータリーを創るために努力してくれた人々である。

英国総督およびマルタ共和国の総理大臣も招待された。人口30万ほどの島の経済はこれまでの英国基地に依存していた。しかしこれからは自力で国を築いていかねばならず、産業と観光の振興に力を注いでいる。137番目のロータリー加盟国となつたマルタは、立派なクラブをつくつて幸先よいスタートを切つたと言えよう。今回の旅行で私達は結局22カ国を訪ね、22のロータリークラブで話をした。大過なくこの旅行を終えることが出来たのは、訪問先の会員諸君の協力のおかげであると感謝している。

アフリカ諸国のロータリーは強力であり、発展を続けてい。訪問したどこの国に於いてもロータリーはよく理解され好感をもつて受け入れられていた。小さな国の小さなクラブを訪問した私達の気持はきつと報いられるだろう。各クラブとも素晴らしい反応を示してくれ、私達も彼等が何を欲しているかを知る事が出来たと思う。

- ホツジス会長は昨年11月2日より12月6日まで歴代のRI会長が未だ訪問した事のないアフリカ各国のロータリー視察旅行をおこない、非常に興味深いアフリカ旅日記を発表されましたので、「ロータリーの友」3号月を御覧覧ください。



* 司会 外山副会長 * 斉唱 手に手つないで
* ビジター 小幡彌太郎君(札幌 農業教育)
外山健吉君外7名(函館) 飯田貞一君外4名(函館東)



第191回例会

例会場 函館拓銀ビル
例会日 毎週水曜日
12.30～13.30

通算才207号

968-3-27

リクラブ

榎野会長

松沢政雄君(根室、漁業)

木島保君外8名(函館)

* 斉唱 奉仕の理想

村上要吉君(札幌、医薬品製造)

荒川正敬君外7名(函館東)

* 会長報告

1. 小幡ガバナーより協力費に対し御礼の書面が参つて居ります。
2. 七重浜慰靈碑附近の薬品除草効果の写真を廻覧致します。
3. 勝木分区代理より南国の香あるフルーツの寄贈があり厚く御礼申し上げます。

* 会員卓話

“続 セメント雑話”

谷口会員

去る42年5月31日セメントの起源から今日に到る迄の歴史と現在使用されて居るセメントに就いて御話を致しましたので本日は将来に就いて御話致したいと存じます。目標は一応西歴2000年(昭和75年)とします。

1. セメント需要量の将来

1-1. 国民総生産(G.N.P.)の伸び

毎年8%伸びるものとする。(1971年迄の経済社会発展計画では8%が見込まれている)

1-2. 建設投資

アメリカ・英国・西ドイツ・フランス・イタリア・カナダ・日本の過去の例に依ると建設投資/GNP=7~18%の間にある。また建設投資1億円当りのセメント消費量は300-1200^t/億円である。

1-3. セメント超長期需要想定 GNP=8%

建設投資/GNP=10-20%

セメント/建設投資=300-600^t/億円

以上の範囲で考えてみると下記の如く推定される。

西 歴	昭和	国内需要	輸 出	計
1965	40	3,117万t	153万t	3,270万t
70	45	4,690	180	4,870
75	50	6,570	180	6,750
80	55	9,220	180	9,400
85	60	10,180	80	10,260
90	65	11,240		11,240
95	70	11,000		11,000
2000	75	11,000		11,000

* 社会奉仕委員

年末の社会奉仕寄附金に依り今般パートカーのスピーカを購入して寄附致しました。金額は5万5千円であります。

* 出席報告

1. 本日の出席 会員37名 出席29名 欠席8名
2. 前回の出席率 会員37名 出席29名 欠席8名
他クラブ出席6名 合計35名 94.59%
3. 他クラブ状況 函館96.24% 函館東98.67%
4. 2月出席率 函館96.22% 函館東98.1%
函館北 94.59%

* 卓話

本日は函館工専の卒業式に参列したあと、只今北クラブ例会に出席出来た事は喜びであります。今様に申せば函館に工科大学が出来たのは安政4年で、江戸に番所調べ所と申した学問しらべ所が出来たのが安政3年で現在の東大の前身であるから随分と函館も古くからの開港都市であるが悪臭の街である所が残念である。我々日本人はどうも“におい”と言うものに対し無感覚である。“いろはにほへと”と習つても、いろは美に通じ、美は“におい”に通ずると言ふ事には全く無知である。「菊の香や奈良の都のほとけたち」と“におい”が文学に表現されたのは江戸時代の中期中で、それ迄は飛鳥時代は皆無、奈良朝時代の大伴旅人編集の梅のたより32種の歌の中でも“におい”にふれたものは全くない。斯様に無感覚になつた主要因は農業国とし人工肥料に依存して悪臭にマヒした事が鼻の機能自体をも低下せしめた為と考えられる。

鼻の悪さは神代からと申しながら、「耳は忘れても鼻は忘れない」と言う様に悪臭は人間に悪印象を残すものである。四季のたよりを運ぶ津軽の海も函館港に近づくにつれて「イカゴロ」の悪臭が鼻につてくる。函館人はマヒして居る様だが旅人には全く閉口であり、この悪臭対策を考慮して良き諸の街函館になつて貰いたい。



新入会員
角谷隆一君

* プログラム委員より

再三会員卓話の予定が変更になつている事を深く御詫び申します。